

熊本県で高病原性鳥インフルエンザの 疑似患畜を確認(国内5例目)

熊本県南関町で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認。

◆ 発生農場:熊本県南関町 肉用鶏農場 飼養羽数:約6.7万羽

12月2日、熊本県は死亡羽数が増加しているとの通報を受け、鳥インフルエンザ簡易検査を行い、陽性を確認。3日、遺伝子検査の結果、疑似患畜であることを確認。

鳥インフルエンザを疑う症状があれば、 すぐに連絡を！

- 同一の家きん舎内において、1日の家きんの死亡率が最近の21日間の平均死亡率の2倍以上となった場合
- 5羽以上の家きんがまとまって死亡している場合
- 複数の鶏の「とさか」などが青っぽくなり、元気がなく、産卵率が低下

消石灰の定期的な散布、農場出入口での消毒の徹底、家きん舎ごと専用の靴の設置および使用、野生動物の農場への侵入防止(ネット等の設置・点検および修繕)、家きんの飲み水の適切な消毒等、飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、より慎重な健康観察をお願いします。

家畜保健衛生所業務第一課 0743-59-1700

家畜保健衛生所業務第二課 0745-62-2440